

NPO法人 海浜の自然環境を守る会ニュース

第80号 2024年9月15日

〒663-8143 西宮市枝川町19-10 甲子園浜自然環境センター内 甲子園地区埋立事業対策協議会気付

<http://www.npo-koshienhama.com/>

『子どものために』の歌を作って51年

私が生まれたのは兵庫県の低い分水界で知られる氷上回廊の近く丹波市春日町です。田園風景が広がる故郷です。海を見るのは夏の日帰りで行く若狭海岸でした。汽車が海に近づき松林の間からきらきら光る海を見た時の感動は今も覚えています。

1969年に浜甲子園団地にできた「東甲子園小学校」(1997年4月に甲子園浜小学校に統合)に勤務して、校舎の窓から憧れの海が見えました。児童たちと、海辺に海浜の学習によく行ったものでした。

間もなくして、1971年(S46)高度経済成長の波にのって、兵庫県が砂浜ごと200ha全て埋め立てて、港湾と都市再開発用地にすると発表しました。

「子どもたちは、自然にひたって生活する中で生きる素晴らしさを知り、より豊かな心が育まれていきます。この子どもらのために、いつまでも美しい海辺を残しておきたいものです」・・・

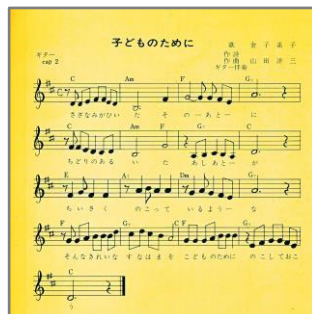
これは1978年にこの歌のレコードが「西宮甲子園ロータリークラブ」はじめ多くの方のご協力で「西宮自然保護協会」によって作成されました。そのジャケットに私が書いた文章の一部です。

1973年に歌を作ってから51年経ちますが、今日まで歌い続けられています。

『子どものために』

さざ波がひいた その後に
ちどりの歩いた 足跡が
小さく残っているような
そんなきれいな砂浜を
子どものために 残しておこう

白い雲が ぼっかりと
うかんだ青空 ねころんで
大きな夢を 見るような
そんなきれいな砂浜を
子どものために 残しておこう



ジャケットより

小さいかにか よちよちと
岩の間を散歩して
日なたぼっこを してるような
そんなきれいな砂浜を
子どものために 残しておこう



左の写真は2016年4月26日「甲子園浜埋め立て公害訴訟原告団」団長津田泰男氏の「お別れの会」終了後に撮影したものです。

このように「甲子園浜」は子どもたち、市民の「遊び」「憩い」「学習」の場所になっています。

1971年(S46)に県が砂浜ごと一帯を埋め立てる計画を発表しました。

それを聞いて1973年に「海の賛歌・子どものために」を作りました。

多くの人々の叡智と血の滲むような努力で「砂浜等」が残されました。甲子園浜の長さは1.8kmの大阪湾で唯一残された自然海岸です。

この浜は8km離れた「東お多福山」(697m)からはっきり見えます。



甲子園浜はシギ・チドリ類の渡りの中継地及びガン・カモ類の越冬地とされています。

192種の貴重な「海浜植物」が自生しています。ギョウギシバナなどイネ科植物が全体の約21%を占める

のは「海浜植物群」の特徴を表していると言えます。

これからもみんなの力で「甲子園浜」を守り育てていきたいものです。

NPO法人「海浜の自然環境を守る会」の2004年からの活動に敬意を表します。

山田洋三
(写真他提供)



シロチドリ
<チドリ科>



ハマビシ:<ハマビシ科>
兵庫県RD Aランク

♥ いいもの見つけ ♥

海浜植物 ハマアザミ

海浜植物のハマアザミの花は、8月から咲きはじめ、今が満開です。

ハマアザミはキク科アザミ属の多年草です。葉は羽状に切れ込みがあり厚くて光沢があり、とげは鋭く触ると痛いです。草丈は40~50cmあります。

兵庫県レッドデータ 2020年版では、Aランク（絶滅危惧種）となっています。

2023年6月尼崎の森中央緑地で行われた帰化植物観察に参加した時にハマアザミが生えていたのを見て、手続きをして持ち帰りました。甲子園浜の砂浜に穴を掘り、底に赤玉土を入れ、根を水苔で巻き移植しました。水やりをして、順調に育っているように思われましたが、砂浜に移植した株の多くは枯れてしまいました。わずかに生き残った株は貧弱で花も咲かすことはできませんでした。一方、環境センターの花壇に移植したハマアザミはぐんぐん育ち、たくさんの花を咲かせ、たくさんの種ができました。風が吹くと新天地へと飛ばされて、根を出し芽を出していくことでしょう。

向山 裕子



8月末



綿毛(種)

活動報告

- ・6月15日(土) 西宮市立東高等学校文化祭参加



- ・6月29日(土) 講演会「淀川河口の自然」

講師：山西良平氏（西宮市貝類館顧問）



18名参加

- ・7月7日(土) 甲子園浜遺跡探検 28名参加



- ・7月14日(日) 甲子園浜 海浜清掃 141名参加

「ブルーサタになって甲子園浜をキレイにしよう」
清掃協力：(株)ヤマサ環境エンジニアリング



可燃ごみ 250 kg 不燃ごみ 40 kg

- ・7月17日(水) NACS-J「甲子園浜で自然観察」参加



- ・7月20日(土) 生活クラブ生協生き物観察会



- ・9月8日(日) 甲子園浜 海浜清掃 122名参加



可燃ごみ 110 kg 不燃ごみ 10 kg

清掃協力
(株)ヤマサ環境エンジニアリング

活動予定

- ・9/28(土) 生物学会植生調査参加

- ・11/2(土) 講演会

「甲子園浜と大阪湾の生物の現状とその変化」

講師：鍋島靖信氏（大阪市立自然史博物館外来研究員）

- ・11/3(日) クリーンアップ in 甲子園浜

- ・11/9(土) 大阪湾生き物一斉調査発表会

- ・11/16(土)11/17(日) 大阪自然史フェス参加